

日本の食料戦略と商社

「日本の食料戦略と商社」特別研究会〔著〕

川島博之〔監修〕/美甘哲秀〔編著〕

東洋経済新報社 1,890円（税込）

食料の多くを海外からの輸入に依存するわが国では、食料資源の安定的な供給体制を確立することが不可欠です。一方で、日本の農業を取り巻く環境は厳しいと言わざるを得ません。さらに食の安心、安全あるいは産地・品質表示への不信感も高まっています。

こうした時期、状況をとらえ、日本貿易会では、2008年6月に設置した特別研究会において、グローバルマーケットにおける商社の豊富な知見・経験を結集し、食料需給の状況を過去・現在・将来にわたって分析、商社の事業活動の事例と共に、資源としての食料をわが国が安定的に確保していくための方策を研究し、この度、その成果を「日本の食料戦略と商社」と題する報告書にまとめ、9月10日、東洋経済新報社より出版いたしました。

ぜひ、ご一読下さい。



構成

はじめに

序章 商社と食の安定供給

- 第1章 食料高騰はなぜ起こるのか**
1. 食料問題の過去・現在・未来
 2. 食料価格高騰の要因を探る
 3. 1973年価格高騰時との比較

- 第2章 食料争奪は起こるのか - 2050年の食料需給を予測する -**
1. 食料需給の構造変化
 2. 主要食料の需給推計

- 第3章 日本の農業と食料安全保障**
1. 日本の農業の現状と課題
 2. 食料安全保障と食料自給率の向上
 3. 拡大する海外調達

- 第4章 商社の役割と食料戦略**
1. 商社の役割
 2. 商社の食料戦略

※有名書店にてお求めいただけます。

本件照会先 (一社) 日本貿易会 企画グループ

Tel: 03-5860-9350

Fax: 03-6800-3408